



本レポートは、環境に配慮した印刷方式を採用しています。

 ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
www.fsc.org FSC® C014687



この用紙は、FSC®認証材および
管理原材料から作られています。

日本生活協同組合連合会 ブランド戦略本部
〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ
メールアドレス: goods.kouhou@jccu.coop

■商品の取り扱いは会員生協ごとに異なります。
■掲載内容は発行時点の情報となります。

2024年3月制作

コープの エシカル = Ethical =



それは誰かの笑顔につながるお買い物

2024



未来のためにCO・OP商品がめざすこと

持続可能な開発目標SDGsとは

2015年9月、国連において採択された目標です。「誰一人取り残さない社会の実現」や「持続可能な地球環境」をめざし、将来にわたってこの地球上で人間らしく生活し続けるために必要な17の目標が掲げられています。



日本生協連は、2018年6月15日に開催された、第68回日本生協連通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。「持続可能な開発目標(SDGs)」について、生協もその一端を担うべく、7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言です。
 (詳しくはこちら)



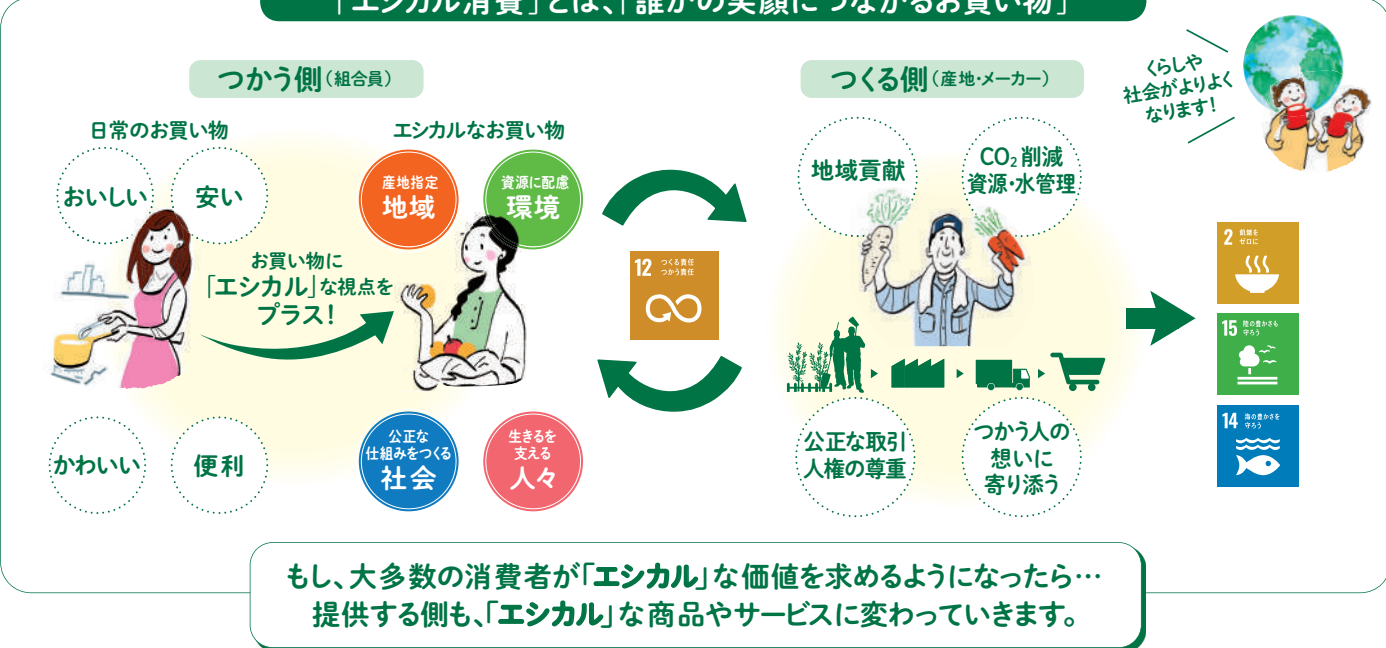
ふだんの買い物で変えられる未来

エシカル消費とは

エシカル消費とは、買い物をするときに自分視点だけでなく、環境や社会など他者への視点をプラスする消費のことです。生協ではこれを「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。



「エシカル消費」とは、「誰かの笑顔につながるお買い物」



エシカル消費はSDGsの17の目標を実現するための重要な手段の一つなのです。

生協とエシカル消費対応の歴史

生協(CO・OP商品)は長い歴史の中でエシカル消費に向き合ってきました。

生協の歴史とエシカル消費

1969

環境に配慮した洗剤「セフター」発売



1990

ステイオンタブ飲料缶発売



昔のプルタブ缶 現在のステイオンタブ缶

1970 産直の取り組み



2010

CO・OP コアノンスマイルスクールプロジェクトスタート



2019

ラベルレスペットボトル「ラベルのない水(あずみ野)2L」発売

そして今も変わらず、CO・OP商品はSDGsの実現に貢献するためエシカル消費を推進しています。

CO・OP商品のめざす未来

2021年日本生協連は、持続可能な社会の実現に向けて全国の生協で推進する「生協の2030環境・サステナビリティ政策」の策定に合わせて、「コープ商品の2030年目標」を設定しました。これは、CO・OP商品の開発・卸を担う日本生協連が、2030年に向けた各原料資材等(農産、水産、紙・パルプ、パーム油、容器包材プラスチック、食品ロス削減)の持続可能な調達目標について定めたものです。



(詳しくはこちら)

時代に合わせ「CO・OP商品政策」も改定しました

「時代を経て変化していく生協のビジョン」と「組合員の暮らしを取り巻く環境」をふまえ、2023年にCO・OP商品政策を改定し、「めざす未来」の中で「すべてのCO・OP商品をエシカル消費対応に」を掲げています。すべてのCO・OP商品において、さまざまな工程での持続可能性を追求し、何らかのエシカル消費につながる対応を実施することで、SDGsの更なる実現をめざしていきます。



「コープ商品サイト」(<https://goods.jccu.coop/>)より

CO・OP商品は以下の取り組みを積極的に推進します

<p>環境 社会</p> <p>環境・社会に配慮した商品開発</p> <p>地球環境や限りある資源の保全とともに、生産者の人権に公平で社会にも配慮した商品を積極的に開発</p> <p>CO-OP サスナナル</p>	<p>地域</p> <p>日本の農畜水産業応援</p> <p>産地と「つながる」「守る」「確保する」「販売する」ことで地域を元気にする取り組み</p> <p>産地指定 国産素材</p>	<p>環境</p> <p>包装資材の環境配慮</p> <p>包材資材(パッケージ)においてプラスチック使用量をさまざまな手段で削減する取り組みや、紙パッケージにおける再生紙・認証紙への切り替えなど</p> <p>FSC www.fsc.org FSC® N001819 責任ある森林管理のマーク</p>	<p>社会 人々</p> <p>寄付金付き商品</p> <p>日本国内の問題やSDGsの課題解決の最前線で活動する国際機関やNGOなどを、対象商品を購入することで支援</p> <p>自然の恵みでのびのび育てた 種族希少 とうもろこし WFP 国連世界食糧計画</p>
--	--	---	---

おいしい、うれしいが「未来につながる」

コープサステナブル



サステナブルな農林水産物や主原料がサステナブルな商品をよりわかりやすくするために、共通のロゴマークをつけシリーズ化しました。

「未来につながる」生産、資源活用へ

「コープサステナブル」とは

生産者

サステナブルな生産

メーカー生協

心を込めて良い商品づくり

組合員

ロゴマークで「選んで」利用

SDGsにもつながる!

●サステナブルな原料を使用した商品には多様な認証マークがつけられています。組合員が売り場で「見つけて選びやすく」するためにシリーズ化、共通のロゴマークを表示しました。

●「コープサステナブル」マークは「サステナブルな農林水産物^{*1}及び主原料^{*2}がサステナブルな商品」につけられ、「未来につながる」生産、資源活用の取り組みを、組合員の利用の力で応援することを目的としたシリーズです。

^{*1} サステナブルな農林水産物…日本生協連「環境や社会に配慮した商品の運用基準」に定める外部基準の認証、またはフェアトレード認証を受けた農林水産物とします。
^{*2} 主原料…製品中で配合率3位以内かつ配合率5%以上を占め、当該商品の主要な構成材料となるものを指します。

主なエシカル消費対応商品

コープサステナブル商品



このロゴマークが目印! サステナブルな原材料を主原料に使用

産地指定・国産素材

寄付金付き商品

パッケージや副原料に限って環境配慮した商品 (エコマーク付き商品)



http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf

取り組みの進展とともに認証マークもいろいろ…そこで、統一のロゴマークをつけました!

【認証マークの一例】



魚食の未来のために msc.org/jp



ra.org/ja



3-0098-17-100-00



※現時点では、産地指定・国産素材・産直など生協独自のマークは含まれません。

コープサステナブル4つのテーマと商品の一例



海の資源を守る



主原料となる水産物はすべて、持続可能であると認証された漁業または養殖業で生産されています。

海の恵みを未来に残す



MSC認証



魚食の未来のために msc.org/jp



骨取り赤魚の煮付け (しょうゆ)

ASC認証



責任ある養殖により生産された水産物 ASC-AQUA.ORG

次世代につながる養殖業 ASC-AQUA.ORG

BAP認証



スモークサーモン トラウト切り落とし



ふっくらしらす干し

MEL認証



森の資源を守る



主原料は森林の適切な管理に配慮して作られた農林産物や再生紙を使用しています。

森と共生する農園からお届けします



レインフォレスト・アライアンス認証



ra.org/ja



紅茶ティーバッグ アールグレイ

貴重な紙資源を再利用



FSC®認証



責任ある森林管理のマーク



未晒し原料を再利用した トイレットペーパー

RSPO認証



3-0098-17-100-00

エコマーク商品



http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf



Organic



主原料は農業や化学肥料に頼らずに、環境負荷の少ない農法で栽培されています。

未来につながる豊かな大地を



有機栽培 ダージリン ティーバッグ

有機JASマーク



リサイクル材使用



製品本体で認証を取得し、かつ環境配慮や省資源につながる使い方・用途を提案しています。

未来につながる資源の循環を



フローリング ドライシート

エコマーク商品



http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf

もっと知りたい!!

おしえて コープサステナブル

Q 「コープサステナブル」はサステナブルな主原料を使用している商品が対象とのことですが、包材(パッケージ)に環境に配慮した素材を使った商品は対象ではないのはなぜ?

A 包材(パッケージ)に環境に配慮した素材を使用し認証マークを表示している商品でも、商品本体の主原料がサステナブルではない場合は、コープサステナブルの対象外となります。また、今後、社会全般に環境に配慮した包材が一般的になることも考慮し対象外としています。

本体の主原料がサステナブルな商品が「コープサステナブル」になります!

飲料容器などに使われている未晒し原料を再利用しました





コープサステナブル 海の資源を守る

未来につながる魚を選ぼう

海の恵みは私たちの毎日の食卓に欠かせません。その海の恵みを、未来の子どもたちまでつなげていくためにCO・OP商品の取り組みを紹介します。



「海の資源を守る」とは



生産者

- ・決められた時期に決められた量を守って漁獲
- ・環境に配慮した漁法や、漁網などに工夫
- ・対象でない魚種の混獲をできるだけ防ぐ



メーカー・生協

- ・魚を知り尽くしたメーカーの熟練の技で組合員に喜ばれる商品づくり
- ・手軽においしく食べられるようにさまざまな工夫を発信



組合員

- ・選んで買っておいしく利用
- ・商品がどこからきたか生産者の顔を思い浮かべる



海の恵みを未来に残す

CO・OP無着色ひとくち辛子明太子・たらこの原料はアラスカ産スケトウダラの卵。アラスカでは「それぞれの魚の資源量を維持できるよう乱獲しないこと」と「魚だけでなくそれを取り巻く生態系全体を守ること」は「責任ある漁業」として約束され、厳しく管理されています。



MSC
「海のエコラベル」
持続可能で適切に管理された漁業で獲られた水産物につけられる認証ラベルです。



生産者

決められたさまざまなルールを守り、生態系と環境に配慮した漁をします。



船ごとに獲っている魚の量は決められています。また獲っている魚種も定められており、守らないと厳しいペナルティが課されます。



スケトウダラを漁獲する際には、上部からレーザーが出ている網を使用します。これはサーモンの走光性(光源に対して一定に運動すること)を利用し、一旦網に入ってしまった後も自ら網から出ていくように仕向け、混獲を防ぐためです。

メーカー・生協

持続可能性に配慮した原料をおいしくいただけるよう心を込めて加工しています。

サステナブルな原料をおいしくいただくための商品づくりへのこだわりも「コープサステナブル」ならではの「CO・OP無着色ひとくち辛子明太子・たらこ」は、メーカー社長自らアラスカまで出向き、漁にも同行。乗組員との密なコミュニケーションが良質な原料の確保につながるそうです。



鮮度にこだわり、船上凍結した原料を輸入



明太子の本場・福岡の工場で、経験豊かな熟練スタッフがほぼ手作業で選別やカットを行っています。

組合員

選んでおいしく食べるのはもちろん、商品がどのように自分たちの食卓に届くのか知ることも、大切な取り組みです。



工場産地交流会などの学習会で、どのような漁で原料が獲られるか、メーカーと組合員でコミュニケーションが取れるのも、生協ならではの取り組みです。

その他の商品の一例



CO-OP
骨取り赤魚の煮付け(しょうゆ)



CO-OP
フィッシュソーセージ



CO-OP
レンジでお星さまの白身魚のフライ

日本の水産業と魚食文化の発展のために

組合員から長く愛される「CO・OPふっくらしらす干し」は2022年3月「コープサステナブルシリーズ」に仲間入り。原料のしらすを漁獲する大阪湾と紀伊水道の「しらす船びき網漁業」は、2020年にMEL漁業認証を取得しました。



紀伊半島と四国に挟まれた穏やかな紀伊水道



MEL認証
マリン・エコラベル・ジャパン(MEL)認証は、水産資源の持続性と環境に配慮している日本の事業者(漁業・養殖業)を認証する制度です。



紀伊水道などで元気に育ったしらすを、水揚げ→輸送→炊き上げ→乾燥→選別→袋詰め→冷凍まで、すべてをひとつの工場で一貫生産しています。



CO-OP ふっくらしらす干し



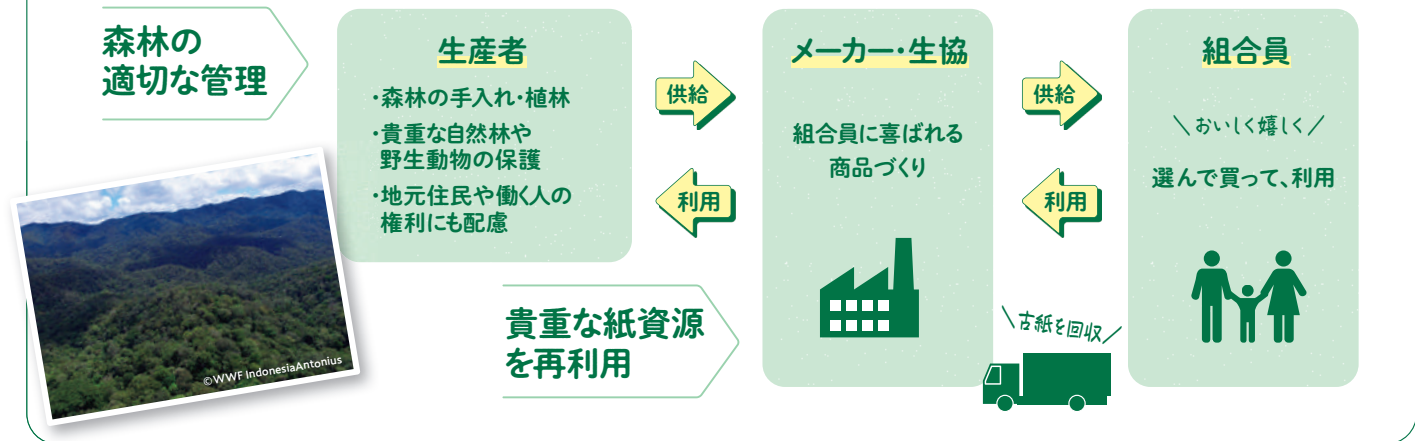
コープサステナブル 森の資源を守る

未来につながる森の循環をめざして



森は木材や食糧、水や空気など生物が生きるために欠かせない多くのものを恵んでくれています。森を守り続けるためにできること、考えてみませんか？

「森の資源を守る」とは



森と共生する農園からお届けします



木の棒でカカオポッドを割り、果肉と種を取り出す様子

レインフォレスト・アライアンス認証のカカオ農園では、植物や野生動物の通り道を保護し、肥料や農薬を適切に使用しています。またカカオ農家は、研修を通してカカオの生産効率を上げる方法や土地の回復力を学んでいます。それが結果的に収量と収入の増加につながり、農家、家族、地域社会を支えることになるのです。

遠い日本の消費者が、我々のカカオ豆から作ったチョコレートをおいしいと感じてくれていることは、我々の努力が報われていることの証であり、大変嬉しく、また励みにもなります。



コープロヤ農協の組合長



CO-OP カカオ70%チョコレート



レインフォレスト・アライアンス
人と自然にとって、よりよい未来を推進する方法で栽培されたことを意味するマークです。詳しくはra.org/jaをご覧ください。



CO-OP コーヒーバッグ キリマンジャロブレンド



貴重な紙資源を再利用

FSCリサイクル紙

FSC認証では、古紙を再利用して紙を製造することについても新しく木を伐採する必要がないため、間接的に森林保護につながると考えており、回収原材料を100%使用したりサイクルペーパーについても、適正な管理の下、FSCリサイクルラベルをつけることが可能です。



飲料パックなどの無漂白原料をリサイクルしています



責任ある森林管理のマーク

FSC

森林の環境や地域社会に配慮して作られた製品であることを示すマークです。



CO-OP 未晒し原料を再利用したトイレットペーパー

ゴミになる芯をなくし、無駄を省きました

ミックスラベルもあります



CO-OP ティッシュ

この製品は、適切に管理されたFSC認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

持続可能なパーム油調達を応援



©RSPO

パーム油の原料であるアブラヤシの生産をめぐる、さまざまな問題があります。

自然破壊・生態系の劣化

農園開発のための熱帯林伐採や焼失
野生動物や生物多様性への影響

環境汚染

土壌・水・大気の汚染

労働問題

農園での劣悪な労働環境や人権侵害

土地紛争

先住民地域住民への影響・負荷



3-0098-17-100-00

RSPO

CO-OP商品では、パーム油原料のアブラヤシ産地で生じているさまざまな問題の解決をめざすRSPO認証を受けたパーム油の使用を積極的に進めています。

パーム油は熱帯で育つアブラヤシという植物からとれる油で、日本で使われる植物油の1/4を占めるといわれています。マーガリンや即席麺、チョコレートなどの食品や石けん、洗剤、化粧品など幅広く利用されているパーム油の持続可能な調達を応援します。



麺フライ油にRSPO認証パーム油(マスバランスオイル[®])使用
※製造過程で、認証油と非認証油が混合される認証モデルです。物理的には非認証油も含んでいますが、購入した認証油の数量は保証されています



CO-OP コープヌードルしょうゆ

環境に配慮して紙カップを採用



2024年は発売30周年！

パーム油とは



©WWF-US_DES Syafriza



Cakes Cleanser Cosmetics
ポテトチップスやパン、即席麺などの食品、石けん、洗剤、化粧品など、幅広く使われています。

生産者と消費者がつながる

産地指定・国産素材

CO・OP商品では日本の農畜水産業を持続可能なものにするために、生産者と組合員の交流を深めながら、生産者の支援と食料自給の向上に貢献する仕組みづくりをめざしています。

国内 | 地域





産地指定

利用・交流・コミュニケーションを通して、産地との安定的な関係をつくります。

8 働きがいも 経済成長も

12 つくる責任 つかう責任

産地指定

主要な原材料に産地や栽培方法が明らかな国産素材を使用した商品にマークをつけています。



産地(生産者または生産者団体)指定で栽培方法が明らか



産地の訪問点検により、品質・安全性の確認ができる



産地とのコミュニケーションが取れる

コミュニケーションから生まれる産地とのつながり CO・OP北海道のそのまま枝豆

産地での厳格な栽培管理と生産管理、そして生協での長年の販売実績という信頼とつながりで「CO・OP北海道のそのまま枝豆」は組合員の元に届けられます。

生産者(枝豆農家)

期間を定めて違った種類の作物を植える「輪作」で連作障害を防ぎ、肥料・農薬は指定されたものを用いるなど、JAとの約束事を守った栽培方法で生産します。

製造工場

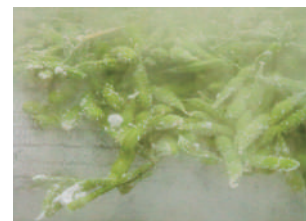
鮮度が命の枝豆を、収穫してから約3~4時間以内に急速冷凍加工することで、枝豆本来のおいしさを生かした商品としてお届けしています。

日本生協連商品担当

収穫シーズンになると産地に伺い、直接生産者と顔を合わせて生育状況を聞くなど、コミュニケーションを取ることで信頼関係を築いています。



一番おいしい熟度を見極めて収穫。鮮度が大切な枝豆は、収穫から3時間ほどで製品に加工される



収穫したときそのままの鮮度・味・色・品質を瞬時に封じ込める



CO-OP 北海道のそのまま枝豆

CO・OP国産大豆の無調整豆乳(フクユタカ)



主要な原材料に国産素材を使用することで地域の元気を応援します。

主要な原材料に国産素材を使用している商品にマークをつけています。組合員からのお問い合わせで多いのは「原料は国産ですか」というもの。「わかりやすいマークをつければ、国産原料を使った商品の利用が広がり、日本の農畜水産業を応援することができるのでは」そんな想いを込めました。

国産フクユタカ大豆を使用

国産大豆「フクユタカ」(分別生産流通管理済み)から搾汁した豆乳です。国産大豆は、たんぱく質が豊富で、適度な甘味があるのが特徴。えぐみや豆くささの出やすい外国産大豆を使った市販品も多いなか、コープでは、豆腐の素材としても使われる良質な大豆を選び、大豆の自然なおいしさを生かした豆乳を提供しています。



CO-OP 国産大豆の無調整豆乳(フクユタカ)



商品の一例



CO-OP 大豆ドライパック



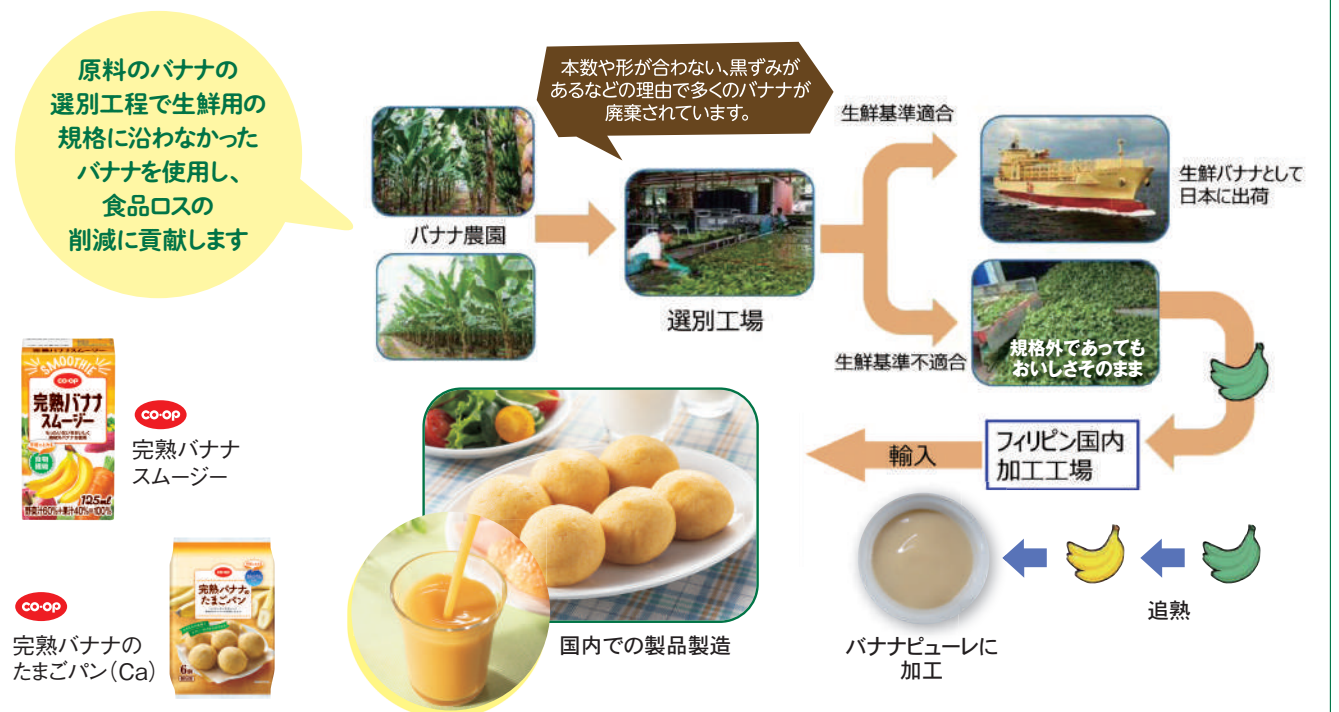
CO-OP 素材こだわり 国産鶏ささみジャーキーハード ※愛犬用おやつ



Column

食品ロス削減の取り組みを商品原料でも

食品ロスの実態に合わせて、農業/水産業者および製造業者において「規格外原料」や「流通できなかった原料」のうち、「利用先がなく捨てられている原料」の商品化を進めます。組合員がおいしく利用することで、食品ロス削減に参加できるエシカル消費の促進をめざします。



未来のために「便利」のその先を考える

プラスチック使用量削減

プラスチックの「その後」が今、大きな課題となっています。私たちの生活になくてはならないプラスチックとどう向き合うか、CO・OP商品はできることから取り組みを始めています。



再生を待つ回収ペットボトル
協力：東京ペットボトルリサイクル(株)

- 12 つくる責任
つかう責任
- 13 気候変動に
具体的な対策を
- 14 海の豊かさを
まもろう

プラスチックと環境問題

プラスチックゴミが流出すると... 海洋生物や生態系への影響

焼却すると... 地球温暖化への影響
燃やすと温室効果ガス(二酸化炭素)が発生

石油から作り続けると... 原料の化石燃料は、使い続けると枯渇してしまう

プラスチック包材は食品の保存性を高めるなどの大きな利便性があります。

燃やせばCO₂の増加に、捨てれば海洋プラスチックごみの原因に。

私たちが環境に配慮した利用(リユース・リサイクルなど)をすることにより、限りある天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らすことが大切です。

プラスチック使用量を削減する4つの方法

リデュース
使用量削減

包材を「省く」(袋内のトレイをなくす)「小さくする」「薄くする」

リユース
繰り返し使用

洗剤・シャンプーなど、詰替用規格の配置

リサイクル
再資源化・再生

回収ペットボトルなど、再生資源を原料とする包材の利用を推進

バイオマス
植物由来素材利用

植物由来プラスチックの利用を推進



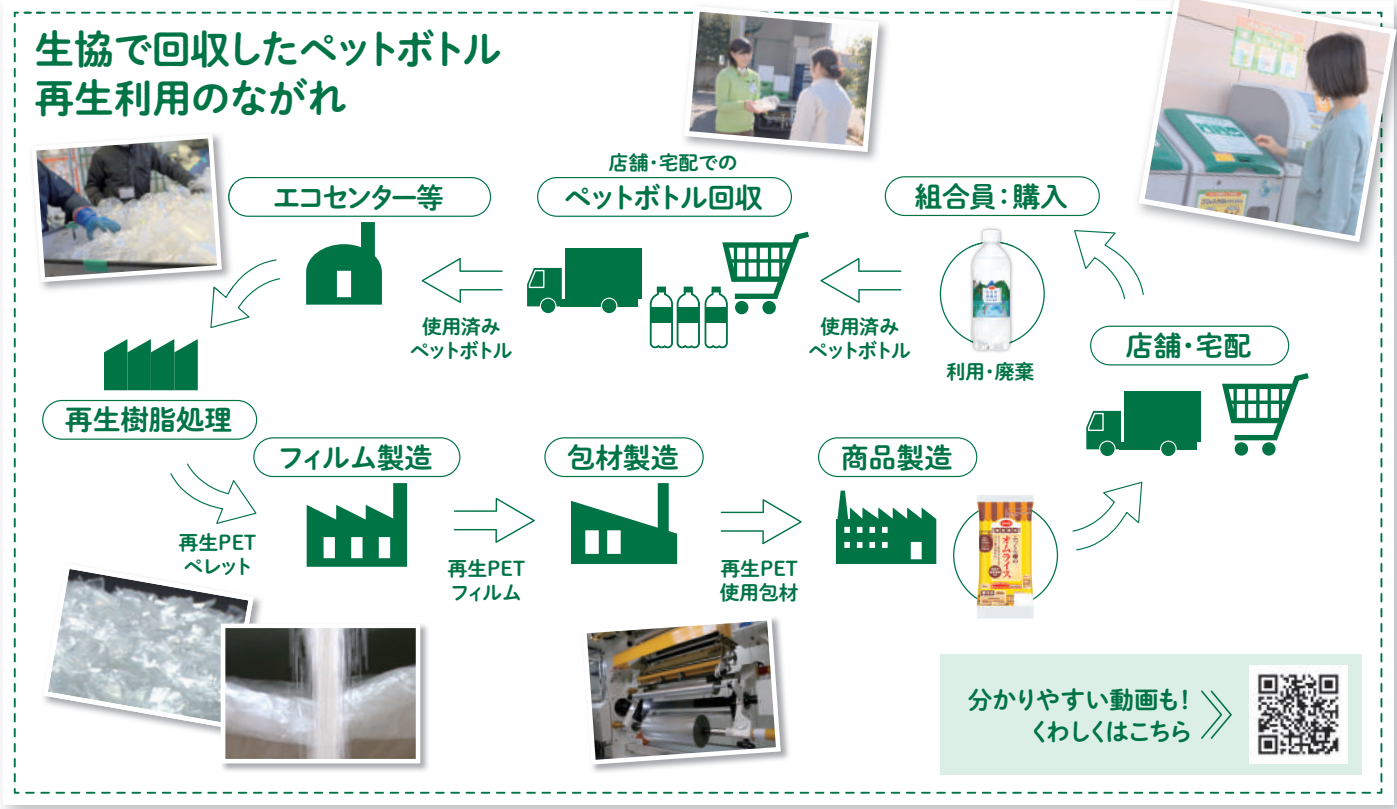
生協で回収したペットボトルを 包材の再生プラスチックの一部に使用しています。

生協で回収したペットボトルをCO・OP商品の軟包材へとリサイクルしていく取り組みを全面的に拡大していきます。2023年3月よりレトルトビーフカレーへ広げ、その後ペットボトルから再生したフィルムを使用している包材全体へと拡大しています。



このフィルムが使用されるCO・OP商品の軟包材については、「生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています」との表示を入れています。

生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています。



植物由来プラスチックを包材の一部に使用しました!

とんかつなどの軟包材の一部を、植物由来プラスチックに変えました。植物由来プラスチックは原料作物の生育過程でCO₂を吸収していますので、CO₂の増加を抑制できます。

レンジでサクッとローズとんかつ

(レンジで簡単) 銀座梅林のヒレカツ

衣サクサクやわらかとんかつなど

紙トレイはFSC認証紙へ

エコマーク商品

(とんかつなど15品中13品で)エコマーク認定を取得

<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>

年間約6.5トンの石油由来プラスチックを削減

※とんかつなど15品の2023年1月21日～2024年1月20日の出荷実績に基づく

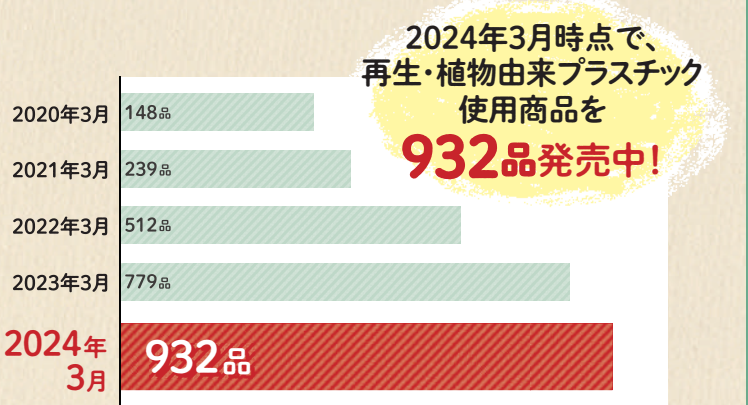
Column



包装(パッケージ)にプラスチックを使用したCO・OP商品は現在約4,400品あります。そのプラスチックを「再生プラスチック」「植物由来プラスチック」に変更した商品点数は年々拡大中です。

進捗はこちらで公開しています

<https://goods.jccu.coop/report-plastic/>



「つくる」から「すてる」まで商品の一生を考える

エコマーク

環境への負荷が少なく環境保全に役立つと認められた商品につけられるマークです。

エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>



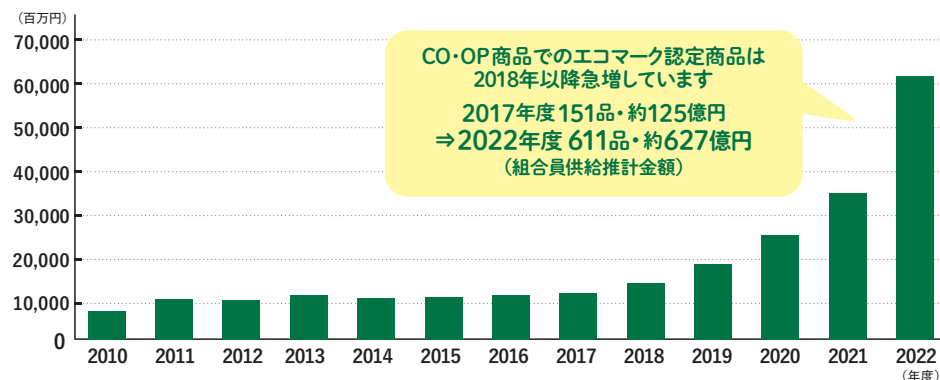
エコマークとは

エコマークは、公益財団法人日本環境協会が国際的な規格に基づいて運営し、さまざまな商品(製品およびサービス)の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。

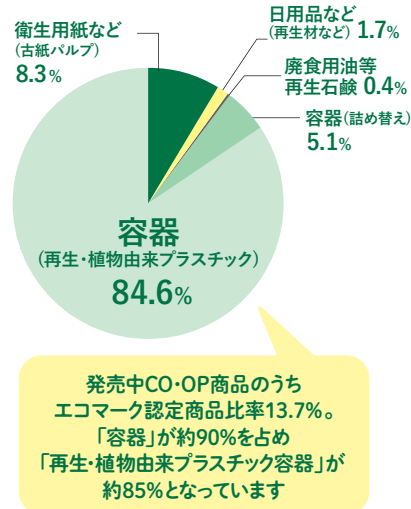
CO・OP商品とエコマーク

1989年3月に日本初のエコマーク認定商品が登場。CO・OP商品は翌年1990年よりエコマーク認定商品の開発を開始しました。以来、古紙使用、再生材料使用、詰め替え容器対応など商品の種類・点数を増やしてきました。近年では特にプラスチック問題を解決すべく、再生プラスチック・植物由来プラスチックなども増えてきています。

組合員供給推計金額



エコマーク認定商品の構成比



エコマーク認定商品の拡大

再生プラスチック容器・植物由来プラスチック容器でのエコマーク取得を2017年から開始しており、ここからエコマーク認定商品が大きく増加しています。



※パッケージは当時のデザインです。

外箱やパッケージも環境配慮に

FSC



紙製品だけでなく、パッケージ・段ボールも責任ある森林資源の使用をめざします。



FSCとは

FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする独立した非営利団体で、国際的な森林認証制度を運営しています。FSC認証は、適切に管理された木材と責任ある調達をされた製品を確実に消費者に届けることで、森林資源の保全を消費者が支える仕組みです。



FSC認証認定商品の拡大

2012年紙製品からスタートし、紙パック、そして段ボールや紙容器など対象をパッケージまで広げ認証認定商品を大きく拡大しています。FSC認証段ボールは、商品数で1,400品以上、使用枚数ベースで60%程度になっています。

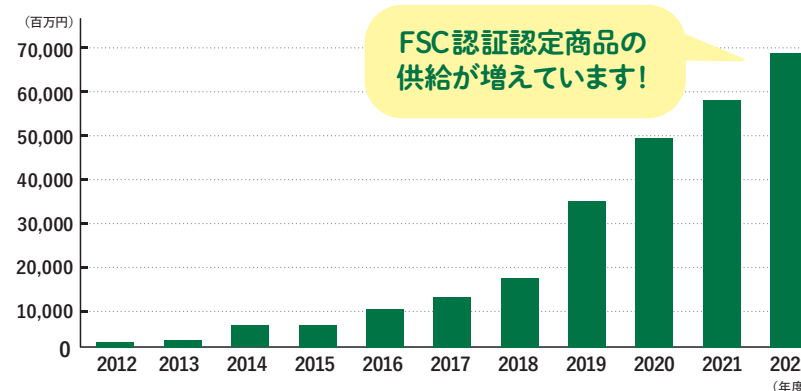


※パッケージは当時のデザインです。

CO・OP商品のFSC認証認定商品は、商品からパッケージ・段ボールまで幅を広げ急増しています。

2013年度 4品・約21億円 ⇒ 2022年度 406品・約683億円

組合員供給推計金額推移



FSC認証認定商品の構成比



※輸送用段ボールは含まず

ふだんのお買い物でできる身近なエシカル消費 寄付金付き商品

あなたのお買物が誰かの笑顔につながります。



寄付金付き商品

CO・OP商品には、対象商品を買うと売上金の一部が寄付される「寄付金付き商品」の取り組みがあります。商品を選ぶ際に「おいしい、安い、手軽…」にプラスして「地域や社会へのお役立ち」について考えてみませんか？

寄付金のしくみ

- 1【組合員】対象商品を1品お買い上げ
- 2【生協】1品につき所定の金額を対象団体に寄付
- 3【対象団体】事前に取り決めた支援活動に寄付金を活用

海外 環境・社会

インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクト

環境と社会に配慮したエビ養殖業への改善を進めています。



2018年7月に開始した、インドネシアでのエビ(ブラックタイガー)養殖業改善プロジェクト。2021年7月には取り組みを拡大し、現在はスラウェシ島とジャワ島での養殖業改善、スマトラ島での養殖用稚エビの生産のために漁獲される天然のエビの漁業改善を進めています。



1



2



3



- 1 エビの育成状況のモニタリング(中部ジャワ州)
- 2 (水質のモニタリング・管理等)エビ養殖の改善に関する生産者への研修(中部ジャワ州)
- 3 マングローブの再生(南スラウェシ州)



ブラックタイガー養殖業改善協力金とは

上記の「エビ養殖業改善プロジェクト」に対して、コープのブラックタイガーを使用した商品の購入を通じて寄付をする取り組みが、2019年3月よりスタートしました。

1 粗放養殖マークのついたブラックタイガー商品を購入。



2 「ブラックタイガー養殖業改善協力金」として寄付。



3 寄付金は、以下のような活動に使われます。

生態系の回復・保全をめざしたマングローブの再生
環境配慮型の養殖に必要な水質管理

エビ生産者への持続可能なエビ養殖に関する研修



CO-OP サクッとプリプリえびフライ(特大)

CO-OP 大きなご馳走えびフライ

2022年度(2022年3月21日~2023年3月20日)全国の生協での協力金総額
681万1,773円

海外 環境



コープの洗剤環境寄付キャンペーン

インドネシアの小規模パーム農園の持続可能な生産などを推進するプロジェクトを支援します。

日本生協連は、2018年からWWFジャパンを通じ、インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農園などが適切な農園管理方法を学び、生産性を高める活動を支援してきました。2022年度からは、従来の小規模農家支援に加

え、より広範囲で多くの農家が持続可能な農業を営むようになることで、熱帯林破壊が抑止できるよう、地方自治体への働きかけを強化します。また、この活動をインドネシアの他の地域へ広げていくことをめざしています。



対象商品の一例
セフターENERGY(エナジー) 抗菌・防臭

独立小規模農家と森林破壊のメカニズム



支援を通してできる活動の例

- 1 保全すべき森を住民で守るトレーニング
- 2 農家の生計が向上する仕組みづくり
- 3 地方自治体の政策策定支援

[2024年度キャンペーン期間]
2024年5月21日~2025年5月20日(通年)

取り組み内容

- 1 対象商品をお買い求めください
- 2 1品につき0.5円をWWFジャパンに寄付
- 3 持続可能なパーム油の生産などを支援する活動につながります。

2022年度 全国の生協での寄付金総額
312万1,378円

海外 環境



スマイルグリーンプロジェクト

ブラジルのアトランティックフォレストで実施されている、森林再生などの活動を支援するキャンペーンです。



2022年11月よりスタートした取り組みです。CO・OPティッシュ、芯なしトイレットペーパー(コアノンシリーズを除く)を1パックご購入いただくごとに1円がWWFジャパンを通じてブラジルに寄付され、WWFが推進するブラジルアトランティックフォレストの森林再生活動などを支援します。

失われた森の再生

ブラジル大西洋沿岸部のアトランティックフォレストは、森林伐採と開発が進み、現存するのは元の森の約12%。本プロジェクトでは、植林や適切な管理により3年間で約45ha(東京ドーム約9個分)の森林再生を目標としています。

森に生きる動物たちを守る

この森は固有の動植物が多数みられる、生物多様性の宝庫です。森を守ることで、これらの固有種を絶滅の危機から守り、生態系を維持することにつながります。



© naturepl.com / Edwin Giesbers / WWF



© Michel Gunther / WWF

人と森が共存できる土地利用

地域住民の暮らしやすさも配慮し、自然を保全する場所と人が利用する場所とのバランスを考え、計画していきます。



© WWF Brazil
森林を再生する場所と、暮らしの中で利用する土地が共存



CO-OP ティッシュ

CO-OP 未晒し原料を再利用したトイレットペーパー

CO-OP ワンタッチ芯までロール

[2023年度キャンペーン期間]
2023年11月1日~
2024年10月31日(通年)

2022年度 全国の生協での寄付金総額
1,001万3,832円

取り組み内容

- 1 CO・OPティッシュ、芯なしトイレットペーパー(コアノンシリーズを除く)いずれかをお買い求めください
- 2 1パックにつき1円をWWFジャパンを通じてブラジルに寄付
- 3 森林を再生し、人と自然、動物たちが共存できる環境づくりに使われます

海外 社会



コアノスマイルスクールプロジェクト

アンゴラの学校づくりを支援する ▶ 楽しく学べる環境づくりに役立ちます。



2010年11月よりスタートした取り組みです。「CO・OPコアノンロール」シリーズを1パックご購入いただくごとに1円がユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付されます。

【第14期キャンペーン期間】
2023年11月1日～2024年10月31日(通年)

第13期全国の生協での寄付金総額
1,520万3,160円

※日本生協連補填含む



対象商品の一例

やわらかコアノンロール シングル



CO-OP

やわらかワンタッチコアノン シングル

取り組み内容

- 1 CO・OPコアノンシリーズいずれかをお買い求めください
- 2 1パックにつき1円をユニセフを通じてアンゴラ共和国に寄付
- 3 支援でできること

アンゴラの子どもの状況

- 5歳未満児の死亡率 出生1,000人あたり69人
- 慢性的な栄養不良に苦しんでいる5歳未満児の割合 子どもの38%
- 教育を受けていない 5人に1人の子ども

出典：世界子供白書2023



Republic of Angola



子どもたちが楽しく学べる環境づくり



教師の育成



安全な水の整備

海外 社会



CO・OP×レッドカップキャンペーン

飢餓に苦しむ子どもたちに給食を ▶ 学校に行けば食べられる、学べる。



©WFP/Myanmar



飢餓から救う。未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画

2014年10月よりスタートした取り組みです。飢餓に苦しむ子どもたちに、学校給食を届けるため、国連WFP協会を通じて寄付をするキャンペーンです。2023年から始まった第4期は、第3期に引き続きミャンマー連邦共和国での活動を支援します。

【2024年度キャンペーン期間】
2024年10月1日～11月10日(期間限定)

2023年度全国の生協での寄付金総額
639万7,244円

対象商品の一例



CO-OP
コープヌードル しょうゆ

取り組み内容

- 1 キャンペーン期間中対象商品をお買い求めください
- 2 1品につき1円を国連WFP協会に寄付
- 3 飢餓に苦しむミャンマーの子どもたちに学校給食を届けるために使われます



©WFP/Myanmar

国内 人々



ピンクリボン運動キャンペーン

乳がんで悲しむ人をなくしたい ▶ 乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます。



日本生協連は、認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)の「ピンクリボン運動」に賛同し、2017年10月よりサポーターとなりました。キャンペーンを通して、J.POSHの推進する啓発や助成などの種々のプログラムを応援するものです。

【2024年度キャンペーン期間】
2024年9月1日～10月20日(期間限定)
*カタログ「くらしと生協」は通年予定。

対象商品の一例



コープ化粧品シリーズ全品



カタログ「くらしと生協」ブラジャー全種

取り組み内容

- 1 対象商品いずれかをお買い求めください
- 2 1品につき1円をJ.POSHへ寄付
- 3 乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます

2023年度全国の生協での寄付金総額

コープ化粧品 **109万1,679円**

くらしと生協 **43万6,282円**

国内 人々



障害者ノルディックスキー応援キャンペーン

困難を乗り越え挑戦する人々を応援したい ▶ 「障害者ノルディックスキー」の日本ジュニアチームをサポートします。



シットスキー体験会(2022年)



応援食クッキーは、障害者ノルディックスキー日本ジュニアチームを応援しています
1品につき1円を寄付

2017年9月よりスタートした取り組みです。対象商品を1点お買い上げいただくごとに1円が、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟ノルディックスキーチームの次世代を担うジュニアチームに寄付されます。

【2024年度キャンペーン期間】
2024年3月21日～2025年3月20日(通年)

取り組み内容

- 1 対象商品いずれかをお買い求めください
- 2 1品につき1円を日本障害者スキー連盟に寄付
- 3 寄付金は「障害者ノルディックスキー日本ジュニアチーム」の活動資金として活用されます

対象商品の一例



CO-OP

応援食 ココアクッキー+鉄分&たんぱく質

【2024年度キャンペーン期間】
2024年3月21日～2025年3月20日(通年)

2022年度全国の生協での寄付金総額

59万616円

私たちの身の周りにおけるコープのエシカル

コープ商品のエシカル
生協のエシカル

エシカル消費
生協の専業・活動のエシカル

地域

CO-OP 産地指定

CO-OP 国産素材

CO-OP 食品ロス削減

CO-OP 地産地消

CO-OP 産直

JAS

品名	産地	産直
りんご	青森	○
みかん	宮崎	○
バナナ	宮崎	○
とうもろこし	宮崎	○
じゃがいも	宮崎	○
さつまいも	宮崎	○
人参	宮崎	○
キャベツ	宮崎	○
白菜	宮崎	○
ほうれん草	宮崎	○
小松菜	宮崎	○
もやし	宮崎	○
とうもろこし	宮崎	○
じゃがいも	宮崎	○
さつまいも	宮崎	○
人参	宮崎	○
キャベツ	宮崎	○
白菜	宮崎	○
ほうれん草	宮崎	○
小松菜	宮崎	○
もやし	宮崎	○

人々

CO-OP 被災地支援

CO-OP 食育

CO-OP 寄付金付き商品 被災者ノルディックスキー 応援キャンペーン

CO-OP 寄付金付き商品 ピンクリボン運動キャンペーン

CO-OP 障がい者支援

J.POSH®
日本乳がんピンクリボン運動

寄付金

寄付金

寄付金

寄付金

環境配慮商品

CO-OP 寄付金付き商品 ブラックタイガー養殖業改善協力金

エシカルな商品を選ぶ

エシカルな暮らし方を選ぶ

MSC 認証

ASC 認証

BAP 認証

持続可能な認証水産物

MSC

ASC

BAP

RFM

CO-OP 暮らしの助け合い活動

CO-OP 見守り

CO-OP 子育て支援

エシカルな取り組みを選ぶ

CO-OP 暮らしを考える取り組み

CO-OP 平和の取り組み

CO-OP 寄付金付き商品 CO-OPxレッドカップキャンペーン

WFP
国連世界食糧計画

環境

CO-OP 寄付金付き商品 洗剤環境寄付キャンペーン

CO-OP 寄付金付き商品 スマイルグリーンプロジェクト

CO-OP 寄付金付き商品 コアノンスマイル スクールプロジェクト

CO-OP フェアトレード

リデュース・リユース・リサイクル・バイオマス・省エネ

エコマーク商品

FSC

スマイルグリーンプロジェクト

コアノンスマイルスクールプロジェクト

フェアトレード

環境

社会

CO-OP 国際支援

CO-OP 寄付金付き商品 コアノンスマイル スクールプロジェクト

CO-OP フェアトレード

WFP

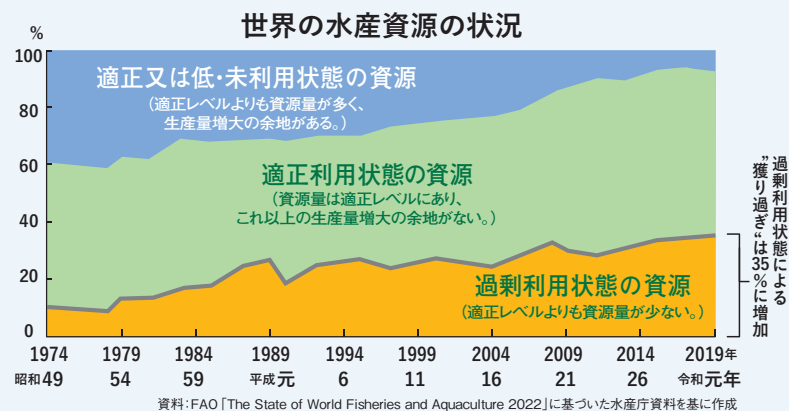
コアノンスマイルスクールプロジェクト

フェアトレード

社会

水産資源の問題

世界の水産資源の現状は、約35%が過剰利用、約60%がこれ以上漁獲を増やせない状態です。今後、水産物需要は、人口の増加、健康志向などにより増加すると予測されており、水産資源の減少が加速する可能性があります。



水産資源を持続的に利用するには

1 漁業においては、魚を獲りすぎないようにルールを定めしっかり守ること、海の環境を傷つけないようにすること

世界の取り組みの例

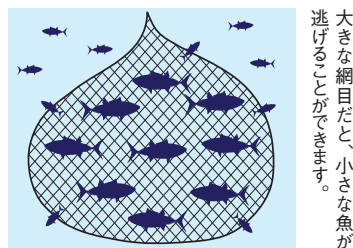
科学的な資源評価による漁獲の規制
資源量を維持するために、科学的な資源評価に基づいて、漁獲可能量を決定します。



禁漁海域の設定や混獲の抑制
産卵場周辺などの禁漁海域を設けます。目的外の魚や生物の「混獲」を監視するなどにより抑えます。



漁具についての規制
今後成長する若い魚を残せるように、網目のサイズを一定以上にするなど規制を設けます。



2 養殖業においては、エサとなる天然魚の持続的な利用や薬剤使用にも配慮して、水質や海洋環境への影響を抑えること

3 持続可能で適切に管理された水産物を、消費者が選ぶこと

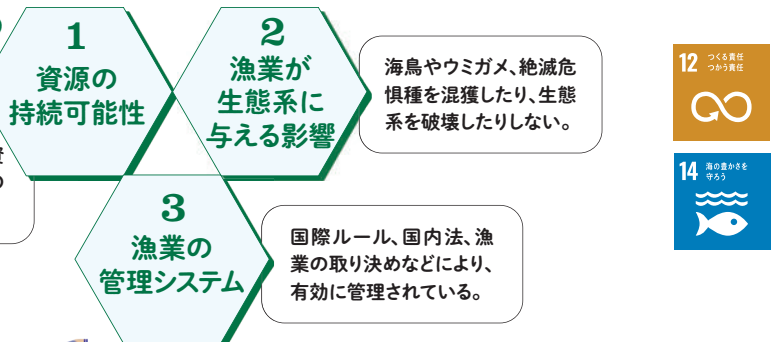
漁業 MSC

海の恵みを未来に残す ▶ 漁期や漁獲量などを管理し、水産資源を守ります。



MSC「海のエコラベル」
持続可能で適切に管理された漁業で獲られた水産物につけられる認証ラベルです。

MSC漁業認証の3原則



商品の一例



co-op 白身魚とタルタルソースフライ



co-op 骨取り赤魚のみぞれ煮



co-op フィッシュソーセージ

漁業 養殖 MEL

MEL 日本の水産業と魚食文化の発展のために ▶ 海の環境や資源に配慮した日本の水産物です。



MEL認証
持続可能な日本の漁業や養殖業を認証しています。

マリン・エコラベル・ジャパン (MEL) は、国際的に認められている日本発の水産エコラベル認証制度です。水産資源の持続性と環境に配慮している日本の事業者(漁業・養殖業)を第三者が審査し認証します。



商品の一例



co-op ふっくらしらす干し



漁業 RFM

RFM アラスカで開発された認証プログラムです。



RFM (Responsible Fisheries Management: 責任ある漁業管理) 認証は、アラスカで開発された天然の水産資源を漁獲する漁業に対する認証プログラムです。アラスカの責任ある漁業管理のもと持続可能な漁業で漁獲された認証水産物であることを示します。

商品の一例



co-op 塩紅鮭切身(小切)



養殖 BAP

BAP 魚と人の未来のために ▶ 環境や社会に配慮した養殖魚介類です。



BAP認証

BAP (Best Aquaculture Practices) 認証は、養殖魚介類のふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場を対象とし、その全ての段階において環境や社会への責任、養殖される魚介類の健康、食品安全を保証する認証制度です。

商品の一例



co-op スモークサーモントアウト切り落とし



養殖 ASC

ASC 環境や地域社会に配慮した養殖 ▶ 責任ある養殖業への改善を進めます。



ASC認証

ASC (Aquaculture Stewardship Council: 水産養殖管理協議会) が運営する、海などの環境や地域社会や人に配慮した責任ある養殖により生産された水産物を対象とする認証制度です。



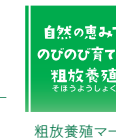
養殖 寄付金

ブラックタイガー養殖業改善協力金

P.16で紹介している「インドネシア・エビ養殖業改善プロジェクト」に対して、コープのブラックタイガーを使用した商品の購入を通じて寄付をする取り組みです。

【取り組み内容】

- 粗放養殖マークのついたブラックタイガー商品を購入
- 「ブラックタイガー養殖業改善協力金」として寄付
- 寄付金は、以下のような活動に使われます
 - 生態系の回復・保全をめざしたマングローブの再生
 - エビ生産者への持続可能なエビ養殖に関する研修
 - 環境配慮型の養殖に必要な水質管理



粗放養殖マーク

対象商品の一例



co-op 大きなご馳走

2022年度 (2022年3月21日～2023年3月20日) 全国の生協での協力金総額

681万1,773円



森林資源の問題

森林破壊、気候変動、生物多様性

ほぼ100年の間に人類は森林を急速に開発し、世界中で多くの森が失われてしまいました。森林を保全しながら、森からの恵みを持続可能な形で利用できる社会をめざすことが大切です。このことは人間同様に森からの恵みを得ている生物たちの多様性を守り、ひいては地球温暖化などによる気候変動を抑えることにもつながっています。



森林資源を守るには

- 1 森林の手入れ・植林、貴重な自然林の保護など、適切な管理を行うこと
- 2 貴重な紙資源を再利用すること
- 3 適切に管理された木材や再生紙で作られた製品を消費者が選ぶこと



保護価値の高い森林や生物多様性の保全に配慮



地元の住民や働く人の権利や労働環境への配慮



持続可能な森林経営

レインフォレスト・アライアンス 森林の自然環境を守り働く人を応援する

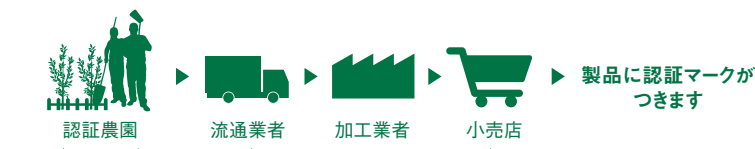
▶ 森林を守り、農園の労働環境の向上をめざします。



レインフォレスト・アライアンス認証

人と自然にとって、よりよい未来を推進する方法で栽培されたことを意味するマークです。詳しくはra.org/jaをご覧ください。

レインフォレスト・アライアンス認証のしくみ



レインフォレスト・アライアンス 持続可能な農業基準 農業要件

レインフォレスト・アライアンス 持続可能な農業基準 サプライチェーン要件



FSC 森の恵みを未来に残す

▶ 将来世代のために、森を大切にすお手伝いをします。

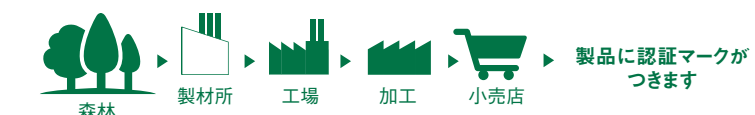


責任ある森林管理のマーク

FSC 認証

森林の環境や地域社会に配慮して作られた製品であることを示すマークです。

FSC認証のしくみ



森を守る基準があります (FM認証)

森から家庭まで確実に届けます (CoC認証)



紙容器がFSC認証認定商品です



RSPO

「持続可能なパーム油」をめざして ▶ 私たちの生活を支えるパーム油の、持続可能な調達を応援します。



3-0098-17-100-00

RSPO 認証

CO-OP商品では、パーム油原料のアブラヤシ産地で生じているさまざまな問題の解決をめざすRSPO認証を受けたパーム油の使用を積極的に進めています。

麺フライ油、揚げ油にRSPO認証パーム油使用 (マスバランスオイル)



CO-OP コープヌードルしょうゆ

MB [マスバランス]

製造過程で、認証油と非認証油が混合される認証モデルです。物理的には非認証油も含んでいますが、購入した認証油の数量は保証されています。



CO-OP 海老・いかかき揚げ 5種の国産野菜入り

商品の一例



エコマーク 「つくる」から「すてる」までの、環境負荷をなるべく減らします。

エコマーク商品



http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf

「つくる」から「すてる」までのライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。

- 【エコマーク商品例】
- 森 古紙パルプ
- 再生プラスチック製品
- 再生プラスチック容器
- 植物由来プラスチック包装

回収古紙や牛乳パック類より再生したリサイクルパルプを100%使用



CO-OP やわらかワンタッチ コアノン シングル

回収したペットボトルなどを原料としてつくられたゴミ袋



CO-OP 再生原料使用 水切りゴミ袋 三角コーナー用

回収したペットボトルなどを原料のトレイ・ふたの一部に使用



CO-OP 無着色ひとくち 辛子明太子(切子)

植物由来プラスチックをパッケージの一部に使用



CO-OP コーヒーバッグ オリジナルブレンド



コープの洗剤環境寄付キャンペーン



【取り組み内容】

- 1 対象商品をお買い求めください
- 2 1品につき0.5円をWWFジャパンに寄付
- 3 持続可能なパーム油の生産などを支援する活動につながります

【2024年度キャンペーン期間】
2024年5月21日～
2025年5月20日(通年)

2022年度 全国の生協での寄付金総額
312万1,378円



対象商品の一例



スマイルグリーンプロジェクト



【取り組み内容】

- 1 CO-OPティッシュ、芯なしトイレットペーパー(コアノンシリーズを除く)いずれかお買い求めください
- 2 1パックにつき1円をWWFジャパンを通じてブラジルに寄付
- 3 森林を再生し、人と自然、動物たちが共存できる環境づくりに使われます



対象商品の一例

CO-OP ワンタッチ 芯までロール



対象商品の一例

CO-OP 未晒し原料を再利用したトイレットペーパー

【2023年度 キャンペーン期間】
2023年11月1日～
2024年10月31日(通年)

2022年度 全国の生協での寄付金総額
1,001万3,832円



地域 産地指定 / 国産素材 / オーガニック

産地指定 利用・交流・コミュニケーションを通して、産地との安定的な関係をつくれます。

産地指定

主要な原材料に産地や栽培方法が明らかな国産素材を使用した商品にマークをつけています。

- 産地(生産者または生産者団体)指定で栽培方法が明らか
- 産地の訪問点検により、品質・安全性の確認ができる
- 産地とのコミュニケーションが取れる



国産素材

主要な原材料に国産素材を使用している商品にマークをつけています。「わかりやすいマークをつければ、国産原料を使った商品の利用が広がり、日本の農畜水産業を応援することができるのでは」そんな想いを込めました。



オーガニック 手間ひまから生まれる「安心」環境への負荷を減らしたオーガニックな農産物からつくられました。



オーガニック (有機農産物・有機加工食品)

オーガニックとは「有機」や「有機栽培」のこと。農薬や化学肥料に頼らずに土壌の力を生かし、環境の負荷をできるだけ少なくする農法のことです。



社会 人々 フェアトレード

フェアトレード 公正な取引で途上国の暮らしを支援する 公正な価格で取り引きされている商品です。



発展途上国の農産物や製品などを不当に安く買うのではなく、農家の生活が成り立つように考慮した「フェア(公正)な価格」で継続的に輸入し、消費する取り組みです。



社会 人々

寄付金 CO-OP×レッドカップキャンペーン / 寄付金 コアノンスマイルスクールプロジェクト
寄付金 ピンクリボン運動キャンペーン / 寄付金 障害者ノルディックスキー応援キャンペーン

海外 社会 CO-OP×レッドカップキャンペーン



- 【取り組み内容】
- 1 キャンペーン期間中対象商品をお買い求めください
 - 2 1品につき1円を国連WFP協会に寄付
 - 3 飢餓に苦しむミャンマーの子どもたちに学校給食を届けるために使われます



【2024年度キャンペーン期間】
2024年10月1日～11月10日(期間限定)
2023年度全国の生協での寄付金総額
639万7,244円

※対象商品は変更になる場合があります

海外 社会 コアノンスマイルスクールプロジェクト

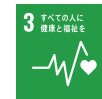


- 【取り組み内容】
- 1 CO-OPコアノンシリーズいずれかをお買い求めください
 - 2 1パックにつき1円をユニセフを通じてアンゴラ共和国に寄付
 - 3 子どもたちが楽しく学べる環境づくりに使われます
・教師の育成
・安全な水の整備
・トイレの設置



【第14期キャンペーン期間】
2023年11月1日～2024年10月31日(通年)
第13期全国の生協での寄付金総額
1,520万3,160円
※日本生協連補填含む

国内 人々 ピンクリボン運動キャンペーン



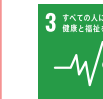
- 【取り組み内容】
- 1 対象商品いずれかをお買い求めください
 - 2 1品につき1円をJ.POSHへ寄付
 - 3 乳がんに対する啓発と患者や家族の支援を進めます



【2024年度キャンペーン期間】
2024年9月1日～10月20日(期間限定)
*カタログ「くらしと生協」は通年予定。
2023年度全国の生協での寄付金総額
コープ化粧品 **109万1,679円**
くらしと生協 **43万6,282円**



国内 人々 障害者ノルディックスキー応援キャンペーン



- 【取り組み内容】
- 1 対象商品いずれかをお買い求めください
 - 2 1品につき1円を日本障害者スキー連盟に寄付
 - 3 寄付金は「障害者ノルディックスキー日本ジュニアチーム」の活動資金として活用されます



【2024年度キャンペーン期間】
2024年3月21日～
2025年3月20日(通年)
2022年度全国の生協での寄付金総額
59万616円

